



たすきをつなぎ力走

ぬまた駅伝大会
3月20日(火)

5年ぶりとなるぬまた駅伝大会が沼田公園を会場に開催され、7つの種別に61チームが参加しました。晴れ渡った青空の下、選手たちは、寒さを吹き飛ばす力強い走りそれぞれの想いを込めたたすきを精一杯つなぎゴールを目指しました。

「おぎよん」を全国にアピール

第12回地域伝統芸能まつり
2月25日(土)・26日(日)

第12回地域伝統芸能まつりが2月25日・26日にNHKホール(東京都渋谷区)で開催され、日本全国の伝統あるまつりと地域芸能が披露されました。本市からは沼田祇園囃子と須賀神社御輿、天狗みこしが参加し、「おぎよん」を全国にアピールしました。



YOROZU
よろずとーく 61
TALK

星の絆実行員会 実行委員長
桑原 敏彦 さん(町田町)
Toshihiko Kuwabara

星の絆は人の絆
10年先まで絆の光を照らし続けたい



「気仙沼市の皆さんはやさしくて温かかった。『復興していくことが支援への恩返し』と前向きに話してくれた言葉がとても印象に残っていますね」
先月3日、星の絆実行委員会と沼田市、気仙沼市の両商工会議所が中心となり、宮城県気仙沼市鹿折地区のスーパ跡地で星の絆イルミネーションの点灯式を行った。
「現地に着くと、商工会議所やボランティアの人たちが、設置場所に広がる水たまりをタオルで一先懸命拭き取ってました。それを見た瞬間、皆さんの復興にかける真剣な思いが伝わってきて、この企画を絶対成功させて



桑原さんと関係者の皆さん

るぞ、と改めて強く思いました」
今回設置したのは、LED電球でかたどった高さ6メートルの星形のオブジェとKIZUNAの文字のイルミネーション。設置準備には、実行委員の他に両商工会議所、ボランティアの皆さんが参加した。
「皆さんと楽しみながら作業を進められました。点灯するまで不安だったけれど、『ついたついたら』と顔をほころばせる人々たちを見たら、ほっとして嬉しさが込み上げてきました」
これからも絆の光を通して気仙沼市を支援し、交流を深めていきたいという桑原さん。
「気仙沼市の復興はまだ始まったばかり。互いの交流を絶やすことなく、10年先まで絆の光を照らす活動を続け、気仙沼市の復興を見守っていきたいですね」



熱演に大きな拍手

白沢町芸能祭
3月11日(日)

白沢町芸能祭が行われ、町内で活動する文化団体や愛好会など総勢29組が参加しました。ステージでは、市指定重要民俗文化財の「平出歌舞伎」や「生枝獅子舞」の他、地域に伝わる芸能や民謡などの演目が披露され、会場から大きな拍手が送られました。

舞踊やダンス、合唱などを披露

利根町芸能祭
3月4日(日)

今年で8回目を迎える利根町芸能祭が開催され、個人や団体など50組の出演者が日ごろの活動の成果を披露しました。会場では、舞踊やダンス、合唱などを楽しむ観客の姿が多く見られました。また、発表後には豪華景品が当たるお楽しみ抽選会も行われました。



われら いっしょに サークル 222

こどもの広場・結いんぐ (会員数23人)

代表 高橋清子 さん
(連絡先 ☎ 2639)



こどもの広場・結いんぐは、県補助事業で平成15年4月から活動を始めました。白沢町の小学生を対象に、放課後や休日の学習や体験活動を応援する団体です。放課後の学習や休日のかかし作りなど、家庭ではできない体験活動を通じて、子どもたちの豊かな心を育む手助けをしています。隔週の水曜日と年数回の休日活動を白沢公民館を中心に行っていますので、活動に興味があり、子どもを参加させてみたい人は、ご連絡ください。

市ホームページでも、イベント結果などを紹介しています。ぜひ、ご覧ください。

ぬまたフオーヤン